

被爆者とともに
核兵器のない平和で公正な世界を
人類と地球の未来のために

8月	行事・会議など日程	支部・専門部など
24 月		
25 火		
26 水	3.13消費税宣伝 17:30～	財政新聞部会 19:00～
27 木		
28 金		月末集金
29 土		
30 日		
31 月	法人集団申告 11:00～	月末集金
9月	行事・会議など日程	支部・専門部など
1 火		
2 水	常任理事会 19:00～	
3 木		
4 金		折尾支部役員会 19:00～
5 土		
6 日		
7 月		陣原支部役員会 18:00～
8 火		婦人部役員会 13:30～
9 水	無料法律相談 18:30～	
10 木		
11 金		
12 土		日本母親大会 in 宮城
13 日	福商連支部役員学習会	
14 月	記帳相談会 13:30～	15日集金
15 火		
16 水		
17 木		
18 金		
19 土		
20 日		

お知らせ

《無料法律相談》
9月9日(水) 18:30～
※事前に予約が必要
《記帳相談会》
9月14日(月) 13:30～
15日(火) 13:30～
民商事務所 ☎ 641-2417

海外代表、全国代表、主催者報告、広島市長あいさつ(代読)。
被爆者爆者あいさつ、政府代表あいさつ(オーストリア外務省)。
特別企画「市民と議員の対話」
田村智子衆議院議員(日本共産党)セッション1:核兵器のない世界の実現を保有国と依存国での戦いセッション2:核兵器禁止条約に



北九州(八幡駅前)からの参加の皆さん

2026年8月4日原水爆禁止世界大会ヒロシマデー集会在広島県立総合体育館・グリーンアリーナで開催され3400人が参加し、706人が視聴しました。八幡西民商からは、2人が参加しました。

8月4日7時45分バスで八幡駅前出発、北九州から38人で参加。車両長石田さんの挨拶、自己紹介の後、被爆者の会の南さんが、被爆者の生の声の紹介、一瞬にして母親と赤ちゃん3歳ぐらいの子供が水蒸気となって消えたこと、首から上がない女性がみどり児抱いて橋の欄干にもたれるさま等々、生きながらえ地獄の様な証言を聞き胸がふさがれる思いでした。
続いて、広島市立基町高校の学生が被爆体験者の話を聞いて、悲慘さに体調を崩しながらも描いた原爆画制作のDVDを観賞し、若

参加する日本をつくらう
日本は独立国家ではないこと、アメリカ合衆国日本州の様である。敗戦国ドイツやイタリアの首相の如く強い意思を発揮してほしい。戦後80年過ぎ、早く独立主権国家になることを希望する。
平和記念資料館など見学して、平和でありたいと感じた、外国人の多さである。暗い展示室、暗い白黒の写真の掲示、展示で悲慘さが伝わらない。私が50年前に見学した時は原爆の悲慘さが伝わる展示があった。今は原爆の恐ろしさを優しく表現することで子供に付度しすぎる。真実が伝わらない、東日本大震災にしても報道がやわらかすぎた。資料館は元の展示に戻してほしいと感じた。
東部支部 宮崎常任理事

14時からの大会は、韓国民主労働組合総連盟副委員長の「核兵器は抑止ではなく廃絶を」の力強い発言、環境活動家ガザへの支援の「知る事は希望」の言葉に、知って廻りに、次の世代に知らせていくことが大切だということ、そして非核三原則の堅持を強く思いました。16時30分閉会。20時30分八幡駅前集合無事に到着。毎年この時期になると、二度と原爆許さない、戦争はしてはならないとの思いが強くなります。皆さんのカンパで初めて広島世界大会に参加しました。
有り難うございました。
婦人部 宮崎役員

爆心地を中心とした模型で、被爆前後の街が映し出され色のある平和な日常が、一瞬で跡形もなくなり廃墟と化した様子、被爆した三輪車、黒く焦げた弁当箱、リアルな写真、見学時間は短かったですが南さんのお話と相まって原爆の威力をあらためて感じました。戦争は決してしてはならない。海外からも沢山の人が見学。原水爆禁止、平和な世界を願う思いが広がっていくことに希望が湧きます。
爆心地を中心とした模型で、被爆前後の街が映し出され色のある平和な日常が、一瞬で跡形もなくなり廃墟と化した様子、被爆した三輪車、黒く焦げた弁当箱、リアルな写真、見学時間は短かったですが南さんのお話と相まって原爆の威力をあらためて感じました。戦争は決してしてはならない。海外からも沢山の人が見学。原水爆禁止、平和な世界を願う思いが広がっていくことに希望が湧きます。

なかま No.139

「食」に妥協せず、一皿に向き合う

会員名：土河 皓平

支部：東部支部

店舗名：馳走かわ平

住所：黒崎4-1-18

不知火ビル1F

電話：080-5162-7400

定休日：不定休



馳走かわ平 土河さん



秋の風物詩 松茸入荷



馳走 かわ平

2024.5.20~



6月下旬から、黒崎で和食割烹「馳走かわ平」を新規オープンした土河さん。調理師学校を卒業後、大阪の和食会席料理店で12年修業を重ね、その後8年間、兵庫県西宮市甲子園の和食料理店で修業の後、経営を引継ぎ営業してきました。

親の他界を機に、地元に戻って店を始めようと、昨年から黒崎地域や折尾地域で店舗を探していました。ところが、空き店舗はあるものの賃料の高さや老朽化によって内装費用が大きくなることで、1年以上かけてやっと店舗を見つけることができ、いざ開店へ向けて・・・というところでホルムズ海峡封鎖の影響が・・・内装工事などに遅れが生じ、予定していた日から2カ月後になんとか営業を開始することができました。

民商に入会した理由として、西宮市で営業している時から西宮民商に大変お世話になっていたの、こっちでも民商

に相談してみようと思い電話してみたところ、店舗探しや国金の借入について相談にのってもらい、改めて入会させていただきました。

北九州に帰って来て市場調査も含めて食事に行く中で、現在、黒崎の飲食店では料金が「かなり安い」か「かなり高い」の両極端になっていると感じています。さらに、「美味しいものは博多か小倉へ」という思いもあると思うので、長年積み重ねた経験と技術を土台に、「この価格で黒崎でも美味しいものが食べられる。」と思ってもらえるように、一皿一皿にしっかりと向き合い、北九州の人の口に合わせることも考えていきたいと思っています。和食コースも考えてはいますが、基本的にはアラカルトメニューとなります。食材や料理に合うお酒をご用意してお待ちしておりますので、一度お立ち寄りください。

ねやさんの無罪、勝ち取ろう！

倉敷民商事件・無罪を勝ち取る福岡の会 第11回総会

倉敷民商事件無罪を勝ち取る福岡の会（以下、福岡の会）は、8月9日、福岡県弁護士会館（福岡市）で第11回総会を開催し、28人が参加しました。



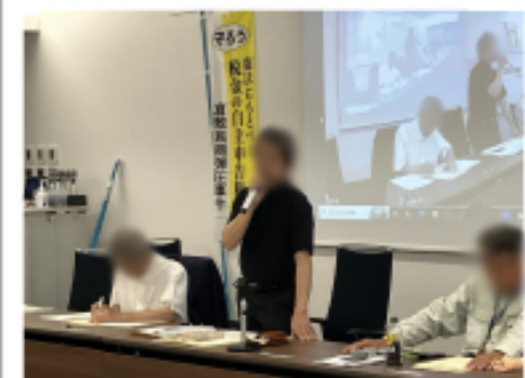
福岡の会 総会会場

総会では、福岡の会梶原会長（福岡第一法律事務所弁護士）のあいさつで開会。福岡の会総会に駆け付けた、ねやさんのあいさつでは「裁判では、私が参考人であったこと、脱税をしたI建設社長婦人は私に脱税を頼んでいないことが明らかになった。この2つの証言で私を有罪にすることは出来ないことが明らかになった。」「みなさんの支援で頑張ることが出来る。これまで、40万を超える署名を提出してきた。さらに署名へのご協力をよろしくお願いいたします。」と訴えました。



切実な気持ちを訴える ねやさん

続いて、岡邑弁護士事務局長より弁護士報告が行われ、これまでの経過報告を行い、「裁判が12年に及び、無実のねやさんはいまも「被告人」の立場となったままだ。長期化の原因は検察、裁判所にある。一日も早い無罪を勝ちとるため、力をあわせよう。」と訴えました。



弁護士報告 岡邑弁護士事務局長

総会方針・決算予算・新役員の選出を吉原事務局長が行い、全会一致で容認されました。

新役員あいさつでは梶原弁護士より「この裁判がいかにかひどいか、今日改めて確認ができた。この裁判は民商だけの問題ではなく、国民の権利に関わる問題。しかし、メディアでは報道されない。我々が頑張らないといけない。」と引き続きねやさんの無罪を求めて運動に取り組む事を確認して閉会しました。

総会では、この間集めたねやさんの無罪を求める署名66筆（全体では111筆）と会場で集めたカンパを直接、ねやさんに渡しました。

事務局長 清水